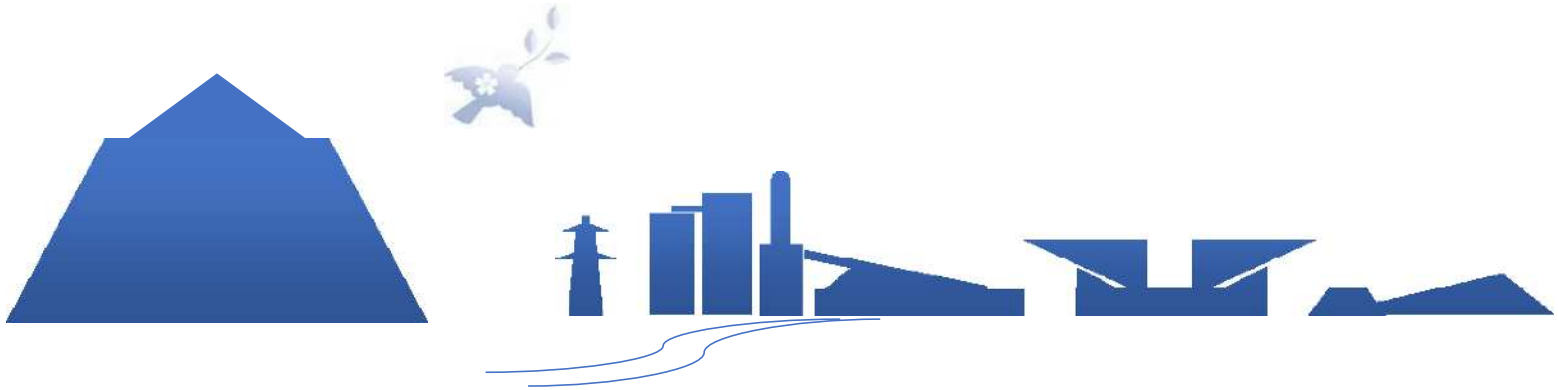
SDGs未来都市
埼玉県

大規模道路陥没事故を踏まえた下水道施設に対する財政的支援及び技術的支援の拡充について

令和８年１０月２９日（木）



事故概要

SDGs未来都市 埼玉県

➢発生日時：令和7年1月28日（火）午前9時49分
➢発生場所：県道松戸草加線　中央一丁目交差点内
　　（八潮市中央一丁目地内）
➢現場状況：中川流域下水道の下水道管の破損に起因
　　すると考えられる陥没が発生

■陥没箇所の位置図



陥没発生直後

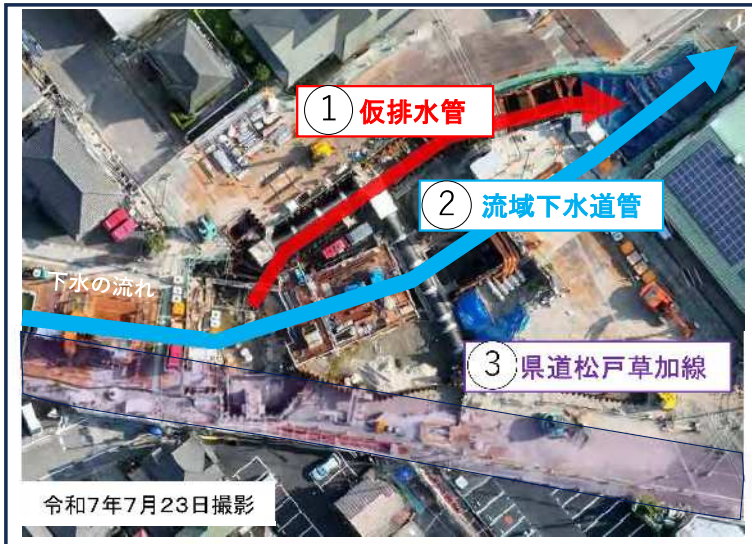


2つの陥没穴が結合



（1月30日02：37頃）

復旧工事の状況





■これまで行ってきた主な復旧工事

① 仮排水管の設置　（令和7年4月）

② 破損した流域下水道管の復旧　（令和8年2月）

③ 県道の暫定2車線供用　（令和8年4月）

■現在及び今後行う主な復旧工事

❶ 仮排水管の撤去　（施工中）

❷ 八潮市雨水幹線の復旧

❸ 地下埋設物、道路の全面復旧

復旧工事に要する費用⇒約３００億円

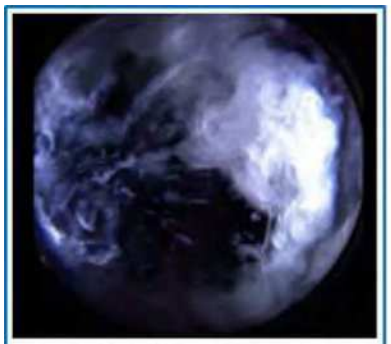
事故で得られた教訓

SDGs未来都市 埼玉県

① 点検・調査

- 埼玉県では**管理する全ての下水道管**について5年に1回の頻度で**点検・調査を実施**
- **大口径で常時流量が多く流れを止められない**箇所での**点検・調査が適切・十分であったのか**

大規模下水道における点検・調査手法の確立



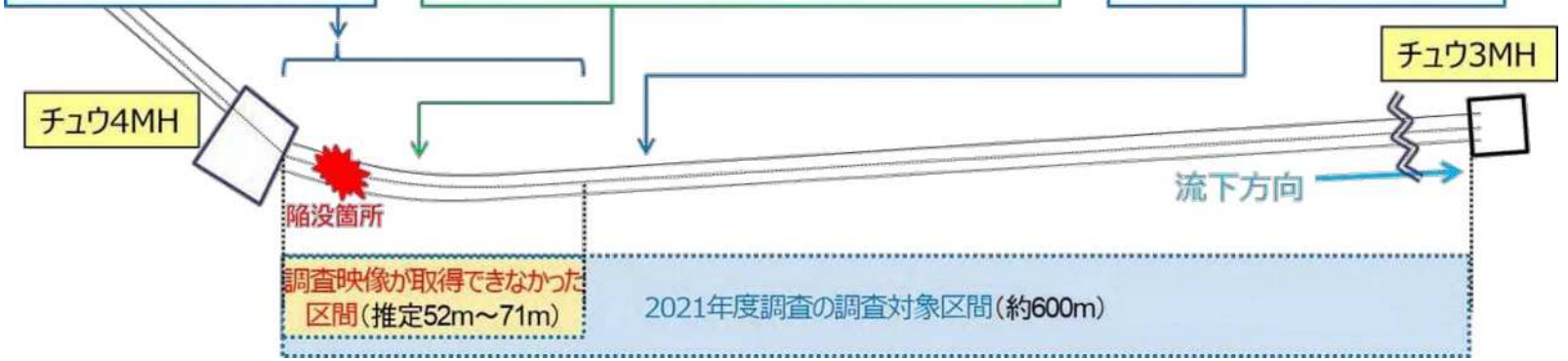
水しぶきで不可視
（2021年度の調査）



事故後撮影
（2025年2月）



光量不足
（2021年度の調査）



事故で得られた教訓

SDGs未来都市 埼玉県

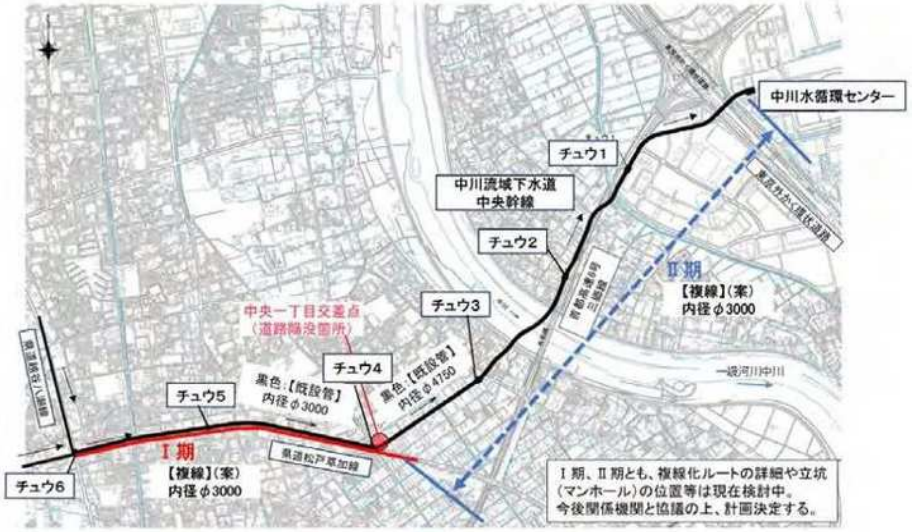
② 改築・更新

- 管更生は、流速が速い、水深が高い場合は適用不可
- これまで管径3mを超える大規模な流域下水道管は本格的な更新の実績なく、今回のバイパス工事（仮排水管）も前例がない工事

日常の維持管理を考慮した施設計画
大規模下水道における改築・更新手法の確立



出典：国土交通省資料より



レジリエンスの強化
（複線化）

③ 費用負担の在り方

- 今回のような大規模な事故時の対応や大規模流域下水道の更新には莫大な費用が必要
- 事故時の費用負担のルールやインフラの長期に渡る更新等の費用負担の在り方が確立するまでは、「水の官民連携」（ウォーターPPP）の導入については慎重に検討すべきではないか

事故時や更新等の費用負担の在り方

国への要望

SDGs未来都市 埼玉県

1　下水道管路の老朽化に起因する道路陥没事故の未然防止のための改築・更新やリダンダンシーの確保策については国の責任で財政措置を行うなど、第１次国土強靱化実施中期計画に位置付けられた下水道の強靱化対策に必要な財政的支援の継続及び更なる拡充を図るとともに着実な推進に必要な予算を確保すること。

2　流量が大きく、水位を下げることが困難な大口径管の点検・調査や改築・更新における有効な手法の確立など、強靱で持続可能な下水道システムの構築に向けて、国として具体的な制度改正やレジリエンスを強化するための技術的支援を行うこと。

また、大規模災害発生時に復旧工事や下水道システムの維持に莫大な費用や労力を要する流域下水道の在り方についても、検討を進めること。

3　多額な経費が見込まれる更新費用を受益者負担とすることの是非など下水道施設の更新費用に係る負担の在り方や、今回のような事故の対応に要する費用負担の在り方について、国民的な議論を通じ整理すること。

4　下水道施設の更新費用等の負担の在り方が確立するまでは、下水道に対する国の財政的支援については、水の官民連携（ウォーターＰＰＰ）の導入を前提条件としない制度設計に再考すること。